

Face of Top

商社の経営経験生かし キャリアデザイン塾開催



インテグリティ社長
糸川 俊

●会社概要

2009年4月設立。本社は東京都港区。資本金は500万円。社員数は10人。取引社数は約100社。商社時代の豊富な人脈を基に、上場企業、ベンチャー企業に経営層の人材や、自動車や製菓などのメーカー向けにエンジニア、営業職などを幅広く紹介している。ミドル層のキャリアマネジメントを転職後もサポートすることを最大の特徴とする。

●素顔

昔からやり抜くと決めたら、一直線に突き進んできた。高校時代は体操部に所属し、高校総体にも出場。後輩には後にミュンヘンオリンピックで金メダリストになった笠松茂氏がいた。同氏とは三重県体操競技種目別で1位と2位を競い合った。大学時代は空手に打ち込み、1年間で黒帯を取得した。ここでも後から入門してきた、作家の三島由紀夫氏に空手を教えた経験もある。何かと有名人と縁があるのは、自分でも不思議。今では、昔ほどハードな運動はできないが、毎朝3キロのジョギングも含め約1時間、雨の日も、雪の日も毎日欠かさず10年間続けている。

●仕事の顔

人生の師と仰ぐのは、セゾングループの元代表だった堤清二氏。中堅幹部として勤務していた大沢商会が、戦後三番目の記録となる1250億円負債を抱え破産した後、再建を担ったのが、セゾングループだった。厳しい状況における経営者としてのあり方や、会社を牽引するための考えなど多くのことを教わったという。

同社の設立はリーマン・ショック後の最悪時。ほとんどの知人や友人が「やめておけ」と言う中で、堤氏だけは「やってみればいいじゃないか」と背中を押してくれたことには、今でも感謝している。

●明日を拓く

還暦を迎えてから、インテグリティを起業したのは、これまでの自分の経験を次世代に生かしてもらいたいための「キャリアデザイン塾」開講にあつた。しかしそれだけでは、ビジネスにならないことは十分承知の上だったが、紹介業と組み合わせることで、軌道に乗せてきた。創業3年目からできればと考えていた同塾は2年目からスタートさせることができた。

次世代のリーダー育成

いとかわ しゅん

1947年、三重県尾鷲市出身。中央大学卒業後、大沢商会に入社。92年取締役兼務で、クライスラー・ジャパン・セールス社長に就任。95年常務取締役として大沢商会の営業部門全般を統括する。役員定年退職後エグゼクティブ・サーチファームの取締役、社長を経て09年4月、インテグリティを設立し社長に就任。